



## 人間を馬鹿にする教育

天災應急事業に従事せる者に對し微細な法規の窮屈を感じしむることは避くべきものである、素より法規は嚴守しなければならぬが去りとして緩急其のよろしきを得なければならぬ、役にも立たぬ理論よりは實際的利益を圖ることが緊切である、空理空論は吾々の實生活とは無縁である、彼の紫雲莊主人が新聞紙上に公告せる「大學生と其父母に告ぐ」との一文は奇激に失したるやと思はるゝ節もないではないが「獨立と獨創と自力と自助とは肝心な修養時代をぬる湯の中の居眠り程度の學生々活で過した彼等の到底堪へ得ざる處であつて唯僅かに已

假面劇

成の組織中の一員となり机上に集る一定範圍の事務を處理する事だけが……彼等の多年の學生々活に一番近くして……彼等が漸く爲し得る處であるが故である」初めて自分は大學卒業生であると云ふ厄介な優越感を全然振り棄てゝ餘儀なく職業に貴賤の別なしと悟り……手當り次第の職業に従事するに至るのである」如何なる鈍才でも或仕事に三年以上の苦勞を積めば如何なる器用な才でも俄かに眞似る事の出来ない一種の専門的鍛鍊を持つに至る……」大學教育を過信してはやがて其卒業後に幻滅の悲哀を味ひつゝあるを見て氣の毒の感に堪へずしと指摘したる處は實に克く謙遜を忘れ、自己を忘れ、精神力を忘れたる寄生蟲的人

### 注意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

物の實情を捕へたる觀察である。生きた教育生きた學術を學ばざるべからざる點に於て吾れ人共に反省を要する次第である。  
(向陵生)

天のいたづらにも程があつて欲しい

工費五十萬圓を投じて架橋工事中の湘南大橋は柱脚九本を打ち終り十本目にかゝつた處今秋二回の水害で假橋流失し鐵材は一噸二十圓も高くなり到底經費の増額を求めねば續工は困難となつたとの事である、國も府縣も市町村も赤字財政で頭痛鉢巻の狀態であるのに天のいたづらも程があつて欲しいものである、(湘南生)

## 海底の地層鐵道當局を

悩ます

一九三六年の世界的トビツクである關門海底トンネル計畫は着々進捗してゐるが鐵道省が新たに選定しようとする弟子町小森江間の海底地層は頗る複雑を極め立花技師の報告は非常に注目を惹くに至つた、即ち一キロ半の海底地質は頗る複雑を極め日本特有の地形を形成して居り海底トンネル工事は豫想以上の困難を伴ふものと見られ國鐵技術者を緊張せしめた、斯の如き地質はたゞさへ至難な海底トンネルを進めるのに一層困難を來たし世界に類例のない難工事であるアメリカのニューヨークブルツクリン、ハドソン河の海底トンネル、イギリスのロヴァプール、ドイツのハンブルグなどの地下鐵工事の水底區間の地質は概ね單純な砂礫層で關門間のそれとは比較にならぬ程樂な工事である、國鐵も非常な決心を固めて

海底トンネル工事としては地質的に世界に類例のないと斷言してよい難工事に着手する譯である、國道連絡トンネルの豫定路線は願くは此の難工事の地層に逢着せざらんことを切に訴る。(めぐり生)

## 交通災害保險の必要

自動車の激増は甚しきを加へ大都市は勿論山村僻邑に至るまで自動車の運行を見ざる所はないが道路の狹隘と電柱の如き障害物の多きとともに路面舗裝の不充分とカーヴの急なると橋梁の不完全と運轉手の不熟練乃至横着と乗客の無理な注文とは事故の頻出を惹起しあたら貴き人命を其犠牲とする事である昭和七年乃至同九年の三年間に於ての自動車事故による死者は千四百六十人負傷者三萬四千八百八十人の年平均數を示して居る悲しむべく嘆ずべき事である、之れが爲めに災害保險の方策を立てること

が緊急な行政である、憲法の解釋で頭腦を

## またしても堀内將軍の

過筆？

「苟くも 天皇の御名を以て處理する司法省の役人が就中法相が恰も盗人と密話するが如き態度を以て犯罪者の其言を信じて公法の施行を曖昧に爲し無罪者取扱を爲さしめたるは何事ぞ……法相が此の如き曖昧なる處置を取りし其背後に何者かある事は暫らく置き法相として機關説の恐るべき犯罪である事を心底より了解せざるに由るならんもとにかく天皇の御名に於て裁判する、最高法相として何とかして大盗人を無罪ならしめんとするが如き態度を以て美濃部は眞實に後悔し居ると無理にこじつけ法を免れしめんとせるは美濃部以上の犯罪なり、皇室に對しては其精神に於て少くとも美濃部と同罪なり」と公言しておるが司法大臣が

裁判する機關とは驚き入つたる無學無智と謂はなければならぬ又犯罪とは如何なる行爲なるものを云ふのか刑法學の一端を學んだ者でも理解し得る所である然るを陸軍中將ともある位地を有しながら臆面もなく筆を弄するとは無耻も甚しいもので而かも中將といへば在郷軍人達には閣下の尊稱さへ惜しむことなき程の高位に在る軍人である、其言や筆やは大に慎むべきものである、如何に時勢とはいへ反省せられて可然であらう。(義憤生)

## 物妻を阪神國道の車輪

### 數

走るは走るは西から東、東から西、阪神國道を行く自動車の動き、其交通量の多いことは實に恐怖に値する去る十月三日(午前九時から翌朝午前八時)兵庫縣御影署で調査したる所では東行西行の諸車はタクシー二千七百七十八臺、トラツク二千八

百九十五臺、リヤカー一千十臺、自轉車五千四百七十七臺、牛馬車百九十臺で總計一萬二千三百四十八臺に達し東行、西行ともその量は殆んど伯仲してゐる、これを時間的にみると一分間に八臺半のタクシー諸車が國道を行く割合になる、それから時刻によつて諸車の交通量がそれ／＼異つてゐる點をみるとトラツク、自轉車、リヤカー、牛馬車は大體晝間が多くなかもトラツクの往來は午後二時から午後四時の間が最も頻繁、タクシーは午後十一時から午前一時の間に最も多いことが注目を引いてゐる、そして、その大半がルームライトを消して欲しい深夜の酔客の飛脚を勤めてゐるのだから面白い。

晝間はいはゆる産業道路として大いに生産的な役割を勤めてゐる阪神國道も夜は打つて變つた不産的な存在の一役をつとめる譯である。(浪華浪人)

## 山陽道路はソンナニ惡いのか

關西道路研究会主催の山陽道に調査自動車隊一行五十五名が自動車の振動、ガソリンの消費量等の事項に關し試験を行ひつゝ風雨をもとせず其企を敢行したことであるが其視察について京大名譽教授田邊朔郎博士は昔參觀交代で諸大名が往來した東海道とは違ひ山陽道は多く大名が海路を撰んだ關係から全面的に道路はよくない、山間部の如きは無理に引張つて人家稠密の地點に路をつけた嫌ひがあり、ところによつては政黨派の抗争が影響して放任された道路もあつたやうだ、黨弊が道路にまで及んでゐたことなど今更ながら寒心すべき問題だ、最も困つたのは俗に山陽の鴨越といはる廣島縣河原峠にさしかゝつた時で、こゝは人夫を雇ひ自動車の後押しでやつと峠を越した今後の道路政策は地方産業の振興開

發を計るを建前とし、産業地を結ぶやうにするのが國策上最大急務と信ずると語り、大阪大學助教前田利一氏はこんどはガンリン消費量と油脂の性質變更、キャブレター、バルブの開きおよび振動などについて試験したが、姫路以西は歸阪後計算する、シボレー一九三四年型試験車で鋪裝された大阪、姫路間は一ガロンのガンリンで二一・六マイル、鋪裝せぬ姫路、岡山間は一五・九マイル走り、振動は大阪、姫路間が車體の前部で二、三二一回、後部で四、四七八回、姫路岡山間で前部で九、八三八回、後部で二一、八一二回を示し、鋪裝せぬ道路は鋪裝道路の四倍乃至五倍の振動を感じてゐることが立證された、即ち道路のお化粧は經濟的に衛生的に、しかしてスピードの上に必要な効果がある、また車の後部の方が動搖のひどいことは判つてゐるが、鋪裝されぬ道路は二倍以上揺れのひどいことが數字に現はれたわけである。と語り、徳島縣岡

本土木課技師は「調査は主として鋪裝と諸車の速度關係、路線の形容、道路從斷勾配や鐵道との交叉状態などについて行つたが、なるほど宣傳だけあつて大阪、姫路間の鋪裝は實にすばらしいものだつた、目下施行しつゝある徳島市内の幹線鋪裝にも多々學ぶところの多かつたのは嬉しかつたが姫路以西下關に至るまでの道路はまるでなつてゐない、甚しいところでは眞眞僅に一間半乃至二間半といふところがあり、これも國道かと呆氣にとられた、あんな道路が國道としてわが國の幹線に今なほのさばつてゐるとはちよつと意外の感に打たれた、あれなら貧弱をはぢてゐる、本縣内の國道の方がはるかに立派だ殊に沿岸道路のあちこちで就勞中の道路工夫の働きぶりなどは本縣の工夫と比較してまるで問題ならぬほど劣等だ、これなら本縣も大いに意を強うして可なりである、實際姫路以西の道路は何ら學ぶどころなくむしろ教へてやりた

い氣持がしたと語り居る。百聞一見にしかず、土木事業は机上の空論を闢はすよりは實際に即しての智能と實行が最も大切であることを痛感する(研道山人)

## 大臣よりは眞人間が尊

香川縣人會が先達て某處に於て開かれたが三土忠造氏の外、大臣を出したことのなので「ナゼもつと多くの大臣を出し得ないか」と異口同音で慷慨した。所が萬綠叢中紅一點の歌人中河幹子女史がつつと立ち上り「大臣が多く出たとて夫れが何んで、眞の人間が一人でも多く出ることが望ましいことではありませんか」と叫んだ、此一言にはなみ居る有聲男子もへこたれてしまつたとの事である。素より我國で十二人しかない大臣のことであるから男としては尊いには違ないが眞人間とは比較にならない、國民としての正道に目醒めたる中河女史よ愈々健在なれ(小豆閑人)